The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	語文　第8輯　編輯後記/投稿規定/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 1953, 8
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/68426
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

編輯後記

「語文」も三年目の春を迎へて、ここに第八輯を世に送ることとなった。

一党一派に偏せず、大阪における国文学研究発表誌として、ささやかながらも、ゆるぎない地歩をしめて来たといへよう。

多艱深憂の時はいつ果てるとも知れない。時の辛さはそのまゝ、この国の文学への真摯なる探究に、拍車をかけるものでなければならない。人間文化の華は待たるべきものではなくて、真摯不断のつちかひの中にこそ期せらるべきだ。風雪の中の高嶺の岩かげにも、千古の花の紅は、日日ひめられ、いとなまれてゐる。時の風雪のただ中にこそ、真の探究の〃春〃は萠え出でてあるべきものであらう。

時、すでに浅春。会員読者諸賢の御多幸を祈るとともに、研究のみのりのよき投稿を歓迎する。

今回は、横山正・田中裕・三上章・榎克朗四氏の着実異色ある研究とともに、林和比古氏に書評を煩はし、小島吉雄博士よりは「浪華日記行」の解説及び鑑刻をいただいて、編輯した。「浪華日記行」は福松藤助の筆、安永九年頃の大阪浄瑠璃劇団の消息を知る好資料であって、斯界に裨益するところも多いことであらう。頁数の都合で分載することにした。

立ちかへる春のいぶきとともに、「語文」もまた、一層の成長と飛躍をとげねばならぬ。大方の御支援を期する次第である。

なほ、印刷所輻湊のため、本号の発行は予定より遅れ、講読者各位に御迷惑をかけたが次号には遅刊を取戻したい。（犬養）

前号にも広告致しました
宇佐美喜三八教授著
「和歌史に関する研究」
（若竹書房刊、送料共三五〇円）
購入御希望の方は本誌編輯室へお申込下さればお取次します。

◇投稿規定◇

○直接購読者は投稿することができる。
○原稿の内容は国語・国文学、国語教育に関するものであること。分量は四百詰原稿用紙二十枚以内とする。
○原稿の送り先は「豊中市柴原、大阪大学文学部国文学研究室内、語文編輯委員」宛。
○原稿の採否は編輯委員に一任のこと。
○採用しなかった原稿は返送料が添附してあれば返送に応ずる。
○一括購読者が投稿する際には代表者から紹介せられたい。

❖雑誌の寄贈・交換について

○雑誌の寄贈・交換は大阪府豊中市柴原大阪大学文学部国文学研究室宛に願いたい。

❖購読について

○購読希望者は発行所宛前金を添えて申込むこと。（送金は振替を利用されたい）

一部　四十円　送料　八円
一年分（四回分）百六十円（送料共）

○五冊以上一括購読の時は一割引の上送料は不要とする。

¥ 40

発行所　大阪市南区横堀7丁目19　邦　進　社　振替大阪123135番　電話船場199)
編輯者　大阪府豊中市柴原　大阪大学文学部国文学研究室　代表　小　島　吉　雄